

| 重点分野の柱 | 施策の方向性 | | 成果指標（案） |
|---|--|--|--|
| <p>新たな価値の創造による産業の高度化</p> <p>札幌が持つ魅力的な地域資源を生かした食や観光分野における新たな価値を創造することにより、これらを機軸とした幅広い産業分野における競争力の強化を図る。また、到来する超高齢社会、低炭素社会が生み出す需要を捉え、地域課題を解決するために新たな価値を創造する健康・福祉、環境分野の産業を振興する。</p> | <p>①食の魅力を生かした産業の高度化</p> | <p>豊かな自然や風土・気候に育まれた北海道・札幌の食の魅力を生かすとともに、<u>食関連産業同士の連携や他産業との連携</u>を促進し、新たな価値の創造から道外販路の確保までを支援する。さらには、関連する企業や人材を道内外から誘致、集積することにより、食分野における産業の高度化を図る。</p> | <p>◆ 製造業の付加価値額 (H22：1,802億円)</p> <p>◆ 札幌市内での総観光消費額 (H22：3,689億円)</p> |
| <p>②魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進</p> | <p>自然、食、文化芸術、スポーツなど、市民とともに観光客が楽しめる札幌らしい魅力資源を磨き、観光関連産業同士の連携を生むことで新たな都市観光を創造・提供し、さらには「北海道のショーケース」として道内の魅力も生かしながら、来訪者の集客・再訪、周遊・滞在を促進し、観光消費による経済循環の活性化を図る。</p> | | |
| <p>③エネルギー転換に対応した環境産業の創造</p> | <p>エネルギー転換の進展に伴って生ずる地域課題の解決に向けて、省エネルギー・創エネルギーやエネルギーマネジメントの産業化を推進する。さらには、関連する企業や技術を誘致することにより、環境分野における新たな価値を創造する産業を振興する。</p> | | |
| <p>④超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造</p> | <p>人口減少・超高齢社会の進展に伴って生ずる地域課題の解決に向けて、健康・福祉関連の<u>ものづくり・サービス産業を振興</u>するとともに、医療・医薬分野、機能性食品などの研究開発を促進する。さらには、先端医療技術を活用することにより、健康・福祉分野における新たな価値を創造する産業を振興する。</p> | | |
| <p>道内循環を高め、道外需要を取り込むための手法と基盤づくり</p> <p>創造性を活かした産業活動を促進し、道内循環を高めるとともに、道外の需要を積極的に取り込む。また、こうした取り組みに合せて、札幌を含めた広域経済圏、さらには北海道全体の国際競争力を強化するための基盤づくりを進める。</p> | <p>⑤世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開</p> | <p>中小企業の海外ビジネス展開や海外からの集客を図るため、アジアや北方圏の経済発展地域に対するマーケティング活動の促進やMICE誘致などを戦略的に展開するとともに、市内における企業や市民の国際化を支援するための仕組みを強化する。</p> | <p>◆ 札幌を含めた広域経済圏の輸出入額 (H23：輸出額183,779百万円、輸入額836,416百万円)</p> <p>◆ 創造的産業の事業所数及び従事者数 (H21：3,107件、37,390人)</p> |
| <p>⑥創造性を活かしたイノベーションの誘発</p> | <p>創造的なものづくりにチャレンジするベンチャー企業や起業家を生み育てるとともに、優れたデザイナー、クリエイター、アーティストなどを輩出する環境を生かし、文化芸術などの創造的な活動と地場企業との交流を促進することによりイノベーションを誘発する。</p> | | |
| <p>⑦広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実</p> | <p>道内外とのヒト・モノ・カネの流れを活性化させるため、道内の産業間の連携を深めるとともに、広域経済圏における主要な空港や港湾などとの交通ネットワークを強化する。また、こうした取り組みに合せて、道都・札幌の都心の魅力づくりや、<u>バックアップ機能の誘致や国内外からのものづくり機能の集積</u>を図るための環境づくりを推進する。</p> | | |
| <p>⑧シティプロモート戦略の積極展開</p> | <p>創造的な文化芸術活動、豊かな食文化、健康な暮らし、環境との共生などの札幌ならではのライフスタイルの魅力を市民が感じ、その魅力を高めて世界に発信することや、札幌らしい特色のある国際的なイベントの開催などを通じて集客を図ることにより、札幌の魅力を感じ、発信する人を更に増やす。</p> | | |
| <p>将来の札幌経済を支える人材の育成・活用</p> <p>札幌の経済を支える市民の潜在能力を引き出し、最大限に活用するための環境を整える。さらには、多様化する社会的課題の解決や持続可能な経済の成長を実現する。</p> | <p>⑨将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用</p> | <p>子どもたちが文化芸術に親しむ環境や、さまざまな就業体験、留学体験などの教育プログラムを充実させることで、幼い頃から創造性や国際感覚を育み、<u>高等教育機関などによる創造性豊かな人材の育成</u>につなげる。また、優れた人材が持つ知識や経験などを積極的に活用する。</p> | <p>◆ 仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合 (H23：44.2%)</p> <p>◆ 女性の労働力率 (H22：48.4%)</p> |
| <p>⑩市民の潜在的な力の活用</p> | <p>子育てなどと仕事を両立できるようにワーク・ライフ・バランスを推進することや、ソーシャルビジネスなどの社会的課題を解決するための活動を推進することにより、<u>働く意欲のある女性</u>や豊富な社会経験や知識・技能を持つ高齢世代の起業や就職を促進する。</p> | | |